

(西暦) 2026年 2月 1日

## 唾液腺炎に対する検査や治療を行うため当院に入院・通院されていた患者さんの 診療情報を用いた臨床研究についてのお知らせ

はじめに

唾液腺炎はさまざまな細菌やウイルス感染によって引き起こされますが、感染によらない炎症性疾患が存在します。急性化膿性耳下腺炎はステノン管開口部から膿汁排泄がみられます。安静と水分補給とともに、ペニシリンや第一世代セフェム系抗菌薬の点滴を行い、膿瘍形成の際は切開排膿術の適応となります。反復性耳下腺炎は症状が反復する点、ステノン管開口部からの膿汁排泄がみられる点でムンプスと鑑別されます。抗菌薬と消炎鎮痛薬の投与、間欠期には口腔の清潔保持と唾液腺分泌促進のためガム、レモンなどの摂取を行います。ステノン管開口部からの直接抗菌薬注入や洗浄も有効です。多くは10歳以降に自然治癒します。シェーグレン症候群と類似する場合があります。繊維素性唾液管炎はアレルギー関与が強く示唆され、RIST、RAST検査で陽性の例があります。唾液腺の腫大と唾液腺管開口部からの好酸球集積による白色繊維素塊が排出されるのが特徴です。副腎皮質ステロイドや抗ヒスタミン薬の有効例が見られます。木村病(軟部好酸球肉芽腫症)は青年期から壮年期の若いアジア系男性に好発します。耳下腺部にみられ、耳下腺腫瘍を疑わせる腫脹を示します。I型アレルギーを背景とすることが示唆されています。軟性～弾性軟の腫瘍で周囲との境界は不明なことが多く、掻痒感や皮膚色素沈着を伴うこともあります。血液検査では好酸球の上昇とIgE抗体陽性、抗カンジダIgE抗体陽性例が多くみられます。病理学的には好酸球浸潤、リンパ濾胞様構造の新生が特徴です。治療薬はステロイド、抗ヒスタミン薬、NSAIDsなどが投与されますが、易再発性です。治療抵抗性の物では減量～全摘出術が選択されます。シェーグレン症候群は口腔乾燥症の代表的疾患です。MRIシアログラフィーは高分解能MRIで耳下腺内導管系以外の軟部組織の信号を抑制し、造影剤注入耳下腺造影に近い所見が得られる方法です。

唾液腺腫瘍は多形腺腫やワルチン腫瘍などの良性腫瘍の頻度が高いですが、悪性腫瘍も存在します。低悪性度腫瘍は緩徐な増大で予後良好ですが、高悪性度腫瘍は急速増大をきたし予後不良となる場合があります。唾液腺腫瘍に対する治療の基本は手術による摘出となるが、高悪性度腫瘍の場合は術後の放射線治療を行うことがあります。根治切除不能腫瘍や遠隔転移症例に対して薬物療法(化学療法、分子標的薬、免疫療法薬)を行う場合があります。手術による摘出が有効であることは知られていますが、放射線治療や薬物療法がどの程度効果があるのかははっきりしたことはまだ分かっていません。

唾液腺炎の診療を行うためには、確実な診断と適確な治療方針の決定が不可欠です。当科で検査や治療を行った唾液腺炎症例の患者データベースを構築し、臨床像および治療成績を統計的に集積分析し、今後の治療へ反映させる必要があります。

対象

西暦2013年1月1日より2025年3月31日までの間に、【耳鼻咽喉科】にて【唾液腺炎に対して検査や治療を行う】ため【入院、通院】し、【診療、手術、検査、リハビリテーションなど】を受けた方。

【試料・診療情報等の項目】

試料：ありません。

診療情報等：① 背景情報：現病歴、家族歴、既往歴、生活歴、年齢、性別、身長、体重、臨床所見、家族からの問診情報 ② 初診時および気管切開術後の喉頭内視鏡検査、嚥下造影検査 ③ 治療内容とその効果 ④ 喉頭ファイバースコープ・CT・MRI の画像所見 ⑤ 血液検査

【試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法】

本研究で使用される診療情報等は他機関への提供は行いません。（浜の町病院のみで使用の場合）

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、研究責任者までご連絡をお願いします。

研究課題名 唾液腺炎に関する調査研究

研究内容

【方法を記載】

カルテから下記の情報を取得します。① 背景情報：現病歴、家族歴、既往歴、生活歴、年齢、性別、身長、体重、臨床所見、家族からの問診情報 ② 初診時および唾液腺炎治療後の血液検査・エコー検査・CT検査 ③ 治療内容とその効果 ④ 喉頭ファイバースコープ・CT・MRI・嚥下造影検査の画像所見 ⑤ 血液検査

個人情報の管理について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

研究期間

病院長承認日 ～ 2027年 3月 31日（予定）

医学上の貢献

本研究により被験者となった患者さんが直接受け取ることができる利益はありません。しかし、本研究により音声障害の原因と治療効果が明らかになる事により、新たな知見が得られることで科学への貢献が為され、社会への貢献が達成されると考えられます。

研究実施機関

国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 耳鼻咽喉科

【当院での研究責任者】 所属 耳鼻咽喉科 職名 医師 氏名 渡邊真理

【利用する者の範囲】

所属 耳鼻咽喉科 職名 医師 氏名 的場信宏

お問い合わせ先

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

氏名 渡邊真理

所属 耳鼻咽喉科

連絡先 092-721-0831

対応可能時間：平日 9：00 から 17：00 まで

以上